

## 自然と共生する里～健やかな「土」を次世代へ



2



1

## 有機農業を始めました

こんにちは、地域おこし協力隊の加賀美です。私の活動の根っこは、いすみ市の宝物ともいえるこの美しい田園の景観や多様な生物が共生する豊かな環境を、子どもたちに、そして未来に遺せますようにという願いにあります。

この1年余り、慣行栽培や有機栽培、自然栽培など農法を問わず色々な農家さんのお手伝いをしていきます。また、昨年4月に休耕地を1反余りお借りし、有機農業に取り組んでいます。その中で、今後力を入れたいのが、比較的栽培が容易で健康効果が期待できるムクナ豆の栽培です。

## 菌ちゃん先生の

## 土づくり革命！

私が休耕地で有機の土づくりに大苦戦しているとき、救世主が現れました。「菌ちゃん先生」こと吉田俊道さんです。

「土ごと発酵」による農業のいらない元気な野菜作りと食育の普

及で全国を飛び回るとても多忙な方ですが、幸運にも昨年7月に菌ちゃん先生の講習・講演会に参加することが出来ました。

通常、有機の土づくりには5年かかるといわれていますが、菌ちゃん先生の手法では最短2か月でき、病害虫も抑えられ元気で立派な野菜を育てられるというお話でした。

今後は、菌ちゃん先生の手法に挑戦し、市内の休耕地でのムクナ豆の栽培を少しでも広げられるよう頑張りたいと思います。

## 古くて新しい

## 農業のチカラ

いすみ市の学校給食で使用されている有機米の栽培技術も、菌ちゃん先生の土づくりも、古くからの知恵と新しい農業技術を融合し、生物多様性や循環を考慮した環境保全型の持続可能な農業といえます。

古くからの知恵は、自然の理を大切にし、「循環と共生」に通じているため、ぜひ学びたいと考え

ています。もし、昔ながらのいすみ市の農の知恵や技術をお持ちの方がいましたら、ぜひ教えてください！

## いすみ村シアター

## 上映会のお知らせ

農村ドキュメンタリー作品を上映します。3月7日、大原文化センターにて「武蔵野く江戸の循環農業が息づく」「タネは誰のもの」の2作品を、25日には岬公民館で「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」「ゼロの阿蘇」の2作品を上映します。市民の方は無料ですが、事前申込が必要となります。各公民館にてチラシを配布中ですので、ご確認ください！

## 問合せ先

地域おこし協力隊 加賀美  
☎090-6655-7768

## 写真の説明

- ①地域おこし協力隊 加賀美美代子さん
- ②ムクナ豆

